

『新々英文解釈研究』

山崎貞著

『人を動かす』

デール・カーネギー著

『あなたの英語診断辞書－英語における日本人共通の誤り－』

松本安弘・アイリン著

2008年の年の暮れ、日本経済新聞第一面下方に掲載される書物広告欄をみて目を見張りました。懐かしい書物のタイトルを見つけたのです。その本はかの有名な書、山崎貞著『新々英文解釈研究』でした。すぐに注文しました。この本は、私が高校時代、英語の授業で使われた参考書です。授業ではこの本を徹底的に勉強させられました。1年生の時でした。その後、しばらくして絶版になりましたが、大学に進学してからも大切に保管し、時々、英文に自信がない時などに参照していました。社会に出てからも同様でした。その後、結婚して子どもが生まれ受験期にさしかかった頃、息子たちに貸しました。長い間、私の下を離れているうちに、行方不明になりました。類似の本を探し、数年前に2種類ほど買い求めましたが、「山貞の英文解釈」ほどに簡潔明解ではなく、不満に思っていたところでした。注文した「山貞の英文解釈」が届いた時には、懐かしい刎頸の友に再会した時のように胸が高鳴りました。現在、私の研究室の学生たちが英文表現に自信が持てない時に参照するよう勧めています。いつも私のそばにいて私を助けてくれるかけがえのない名著です。

次に紹介したい本は、デール・カーネギー著『人を動かす』です。この本との出会いは今から約40年前にさかのぼります。就職が内定した日本IBM社から内定者に対して配布された本の一冊がこの本だったのです。当時、研究一筋だった大学院生の私には全く異なる分野の本でした。読んでみて一番印象に残った言葉は「人を説得するにはその人が説得する方法でせよ。」でした。他にも「議論に負けてもその人の意見は変わらない。」があります。この本は今でも世界中の多くの人に読まれています。この本には5つの章があります。第1章「人を動かす3原則」、第2章「人に好かれる6原則」、第3章「人を説得する12原則」、第4章「人を変える9原則」そして「幸福な家庭をつくる7原則」で終わります。

最後に紹介しておきたい本は、実践的な本です。松本安弘・アイリン共著『あ

なたの英語診断辞書－英語における日本人共通の誤り－』です。著者は夫婦の間柄です。この本と出会ったのは私が35歳くらいの時でした。この本との出会いで私のTOEICスコアは一挙に100点ほど上がりました。私たちが書いた英語の論文などをネイティブ・スピーカーにチェックしてもらうことがあります。多くの人はネイティブ・チェックをパスすると安心してしまいますが、これは危険です。なぜならそのネイティブ・チェッカーは、依頼者が言いたいことを正しく理解しているとは限らないからです。正しい英文で間違っただけを伝えてしまっているかもしれないのです。このことは依頼者である著者もネイティブ・チェッカーも気づいていないのです。ましてや読者はそのことに気づきません。恐ろしいことです。この「辞書」は、この問題を解決してくれます。論文の著者自身が正しい英文が書けるよう日本人の夫とアメリカ人の妻とが協力して著した傑作です。TOEICスコアが気になり始めた人には必読の書です。例を挙げると、

WRONG : No more Hiroshima !

RIGHT : No more Hiroshimas !

などがあります。前者がどのような意味になるかはTOEICスコアが700点以上の人であればすぐに分かると思います。他にも紹介したい本は沢山ありますが、今回はこのあたりで筆を置きます。いずれにしても書物との出会いは人との出会いと同じように大切です。人との出会いはいずれ別れなければならない時が来ます。しかし、書物との出会いはいつも一緒に生涯連れ添うことが出来ます。出会いを大切にしていきたいものです。

執筆者紹介

浅井 達雄

本学副学長（広報・情報担当）、経営情報系教授。専門領域は、情報システム計画学、産業デザイン学、情報セキュリティ論、マルチメディア情報学。

『書名』 著者名(翻訳者名) 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格
『新々英文解釈研究 復刻版』 山崎貞著 研究社 2008年 3,150円
『人を動かす』 デール・カーネギー著(山口博) 創元社 1999年 1,575円
『あなたの英語診断辞書 英語における日本人共通の誤り』 松本安弘、松本アイリン著 北星堂書店 1976年 3,570円

[ブックガイド目次へ](#)